

8月の大雨に係る被害状況等について

本日 22:00 時点で把握した現地情報ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

今朝より、JVOAD 関係団体ならびに JVOAD スタッフが現地に入り、主に佐賀県武雄市、大町町、小城市を中心に、地元団体（佐賀災害支援プラットフォーム）とも連携しながら被害状況等の確認を行いました。

- ・冠水のため、まだ通行止めの道路もある
- ・順天堂病院はまだ孤立状態
- ・片づけを始めている住民もあり、道路に災害ごみがおかれ始めている（災害ごみの仮置き場は順次設置）
- ・車の被害が多い模様
- ・武雄市、大町町を見た感じでは、500 軒くらいは浸水している様子



【提供 災害 NGO 結：大町町】

○災害ボランティアセンター

全国情報共有コア会議が実施され、全国社会福祉協議会より、災害ボランティアセンターの開設予定を確認しました。

- ・福岡県筑後市で、8月31日（土）、9月1日（日）災害ボランティアセンターを開設
市内在住、在勤の方、40名程度を募集
- ・福岡県久留米市は、通常のボランティアセンターとして、相談窓口を設置予定
- ・佐賀県は多久市、小城市で災害ボランティアセンターを設置、他いくつかの市町も検討中

○その他

大町町では、冠水した工場から金属加工油が流出。国交省、自衛隊を中心に、油の汲み取り作業を実施。環境省からは、佐賀県に向けて住民、ボランティアに向けた健康上の注意事項が案内されています。

○今後について

明日も引き続き、地元行政、社会福祉協議会とも連携しながら、被害状況について確認を行います。本日、確認できなかった市町についても状況確認を行う予定です。



【提供 災害 NGO 結：大町町】
(河川の油の回収)